

令和5年4月30日

大阪府教育委員会
教育長 橋本 正司 様

少年自然の家共同事業体 代表者
533-0033
大阪市東淀川区東中島1-20-14
公益財団法人 大阪ユースホステル協会
会 長 平 岡 龍 人

令和4年度大阪府立少年自然の家の事業報告書の提出について

大阪府立少年自然の家基本協定書第7条の規定により下記のとおり報告します。

記

1. 主なとりくみについて
2. 事業実績について
3. 収入実績について
4. 損益計算書
5. その他の実績について
6. 利用者満足度について
7. 事故・苦情処理について
8. 利用実績について
9. サービスの安定性評価
10. 利益処分計算書

以 上

令和4年度 事業報告書

1-1. 主な取組み

年間利用者数

宿泊利用 38,845人 日帰り利用 38,158人 合計 77,003人

事業の状況

(重点的な取組み)

- ・関係法令を遵守した運営
- ・創意工夫やノウハウを活用し、合理的かつ効率的な業務の実施
- ・大阪府新型コロナウイルス感染症対策本部の方針や業種別ガイドラインに基づく、安心、安全な施設運営。
- ・施設の特性を生かした企画、防災教育プログラムの提供。
大阪府の体験活動推進を目的とした学校へ「出前講座」を実施。
- ・SNSなどを利用した効果的な広報によりフォロワー数増加
- ・企業、他団体、近隣施設との協働。ノウハウを取り入れたサービス向上。

(事業)

主催事業

災害に備える支援事業	1事業
長期宿泊体験事業	2事業
読書活動と結びついた自然体験の推進事業	2事業
※1事業はガーデンイベントとして実施	

自主事業

障がいを抱える青少年への支援事業	1事業
フォレスト・ジュニア・クラブ（森の学校）	1事業
ホテル観賞の夕べ	1事業
ファミリーキャンプ	1事業
大阪府アドプトフォレスト	1事業
自然環境・野外活動指導者育成事業	2事業
※うち1事業は参加者少なく中止	
自然の家専属指導者の育成事業	1事業
近隣市町村との連携支援事業	1事業
※おおさか元気広場（出前講座）等	
インターンシップ（就労体験）推進事業	1事業
おおさか元気広場	1事業

その他自主事業

バーベキューガーデンイベント	3事業
プログラミングキャンプ	1事業
ゴールデンウィーク他宿泊・日帰りパック	4事業
※夏休み、秋の連休、冬の連休を追加	

おとなのための自然体験活動	2 事業
※うち 1 事業は該当なく中止	
家族でたき火を楽しもう	1 事業
子育て応援事業「親子のセミナー」	2 事業
クールジャパン推進企画「コスプレの森」	1 事業
女性のためのソロキャンプ体験会	1 事業
サバイバルマスター 1 DAY チャレンジ	1 事業
※新規追加	
開かれた施設としての地域連携	1 事業

(食堂)

- ・利用者のニーズに合わせた献立作成、対応時間対応
※宗教対応食、早朝退所団体など
- ・大阪府新型コロナウイルス感染症対策本部の方針やゴールドステッカーに準拠した衛生管理。
食卓へのパーテーション設置など、安心して食事をしてもらう取り組み
- ・見栄え向上のための朝食用食器トレイの更新
- ・野外炊飯や補食・夜食のアレルギーや疾病による食事制限、咀嚼・嚥下障がいのある方へのペースト食や刻み食の提供など、要望に応じて対応

提案による施設の維持及び補修に関する状況

(館内設備)

- ・宿泊棟
- 各リーダー室エアコン電源配線改修工事（専用回路へ変更）
- 各談話室壁掛け時計交換
- C棟談話室エアコンファンがたつき異音修理
- A2F、B2F、B3F、C3F、本館 2F 男子小便器洗浄センサー不良箇所更新
- A1F、2F 女子トイレ洋式化改修工事（各 1 か所、大阪府）
- A1F 談話室カーペット汚損箇所交換
- B1F 廊下、階段室天井塗装はがれケレンがけ、再塗装
- B1F、C1F 廊下蛍光灯 LED 化自主工事
- 各トイレ洗浄水吐水不良箇所ピストンバルブ交換
- ・本館
- オリエンテーションホール空調冷却塔清掃・冷暖切替作業
- 食堂前天井給湯配管漏水修理
- 大浴室、第 3 浴室混合栓交換、入口スライドドア錠前交換
- カリヨン鐘修繕工事
- 浴室天井雨漏り補修、各屋根樋清掃
- 浴室ろ過ポンプ電源改修工事
- 屋上消火補給槽逆止弁修理
- 小研修室用折り畳み机更新（大阪府）
- 玄関土間コンクリートひび割れ補修
- 身障者トイレ、女子トイレ一部 LED 化自主工事
- 公衆電話撤去

クラフト室天井内給湯配管漏水修理

・その他

誘導灯・非常照明バッテリー交換（大阪府）

トイレ洗浄水ピストンバルブ取替え

つどいの広場電源ボックス改修

給水設備工事（市水へ切替、受水槽新設、2号道路舗装 大阪府）

つどいの広場埋設給水管漏水補修工事（大阪府）

廃棄物庫かたづけ、産業廃棄物回収

廃蛍光灯回収処分

職員駐車場駐車スペース白線引き、パート駐車場地面補修

バーベキューガーデン内線電話配線断線補修

（食堂設備）

食堂エアコンスイッチ修理

食堂 GHP 潤滑油補充

地下食品庫換気扇改修工事、煙感知器交換

厨房処理室プレハブ冷凍庫コンプレッサー自動給水弁交換

厨房食器洗浄機シャワー栓補修

厨房温水給湯ロスバウト交換

（野外設備）

登山道整備（重機使用地ならし含む）

登山道番号案内看板製作・設置

アスレチック場遊具追加工事（滑り台）安全対策

ツリーイングフィールド整備（フレンドシップよりフィールドへの階段設置）

倒木処理、高枝剪定

燕除けネット、コウモリよけネット、忌避剤設置

スズメバチ巣駆除、アブキャッチャー設置

進入路、広場、野外ステージ、キャンプ場周辺 除草作業

1号道路陥没補修

1号道路汚水樹・排水管洗浄

琉星の森電源スタンド補修

第1炊飯場止水栓バルブ交換

チェーンゲート故障修理、チェーン接続金具製作

野外倉庫かたづけ

野外食器用具洗浄作業、コゲつき鍋磨き

玄関前土間修繕工事（大阪府）

利用促進に向けた施設サービスの向上に関する提案

感染防止認証ゴールドステッカーの継続

動画共有サービスを有効活用し、下見や打ち合わせに有効利用

新型コロナウイルス対策として、宿泊棟、研修室、食堂、風呂などの人数制限措置

教員向け、防災カレーの試作調理の実施

バーベキューガーデン奥貝塚にてガーデンイベントの実施

野外用貸出し物品の購入

利用団体の要望によりプログラムの指導員を派遣

業務委託・保守点検状況

警備保安管理業務

日常清掃業務

ボイラー(空調・温水ヒーター)運転管理業務

汚水処理施設維持管理(毎月所定回数)

遊離残留塩素測定(毎月)

自家用電気工作物保安管理業務(月次および年次点検1回)

消防設備等点検(9月・3月)

空気環境測定(4月・6月・8月・10月・12月・2月)

厨房・食堂害虫駆除(6月・9月・12月・3月)

ガス温水器排ガス測定(9月・3月)

水道立入検査(7月)

汚泥搬出業務(1月)

小荷物専用昇降機検査(8月)

LPGガス強制気化装置(ペーパーライザー)点検(11月・3月)

浄化槽検査業務(10月)

浄水場水質検査(10月)

受水槽・高架水槽清掃(12月)

灯油地下タンク漏えい検査(3月)

特別清掃(2月)

建築設備点検(3月)

特殊建築物点検(3月)

防火設備点検(2月)

防火対象物点検・・・特例認定により検査免除

公用車6か月毎点検

ゴミ回収業務(週1～3回)

敷地内除草業務(随時)

温水ヒーター(ボイラー)点検(毎月)

自賠償保険・見舞金制度加入(4月)

施設・設備補修業務、物品修理業務、施設管理用物品購入業務、植栽・山林管理業務、野外施設等保守点検業務(以上、随時)

アスレチック遊具点検(6月)

1-2. 主な取組みに対する総括・自己評価

令和4年度は、利用においては緩やかな回復傾向がみられ、コロナによる影響がない2018年の年間利用者数94,290人と比較して、今年度は77,003人と8割程度の利用者数となっている。

利用においては、団体からのニーズにおいてキャンプファイヤーや、レクリエーション、プログラムのサポートにおいて職員の有料指導を提案することで、利用団体への顧客満足度の向上と利用収入のアップにつなげることができた。

事業においては、中止になったものもあるが、集客は安定しており、フォレストジュニアクラブを中心に、受け入れ人数を増すことで、ニーズに応じた対応を講じた。

女性のためのソロキャンプや、プログラミングキャンプなど新たなニーズにもこたえる内容を展開することができた。また、宿泊パックを連休などに合わせて展開することで、コロナ禍において、家族や小団体へ向けて、利用のしやすさとサービスの向上を合わせたプログラムを展開することで時代に応じた事業を展開することができた。

バーベキュー場の利用促進を図るため、ガーデンイベントを季節に合わせて展開。蛍の観察や、プールパック、クリスマスなどに特化した家族向けの事業を行った。

また、個人、少人数団体へ向けてのテントサイトを5か所整備することでソロキャンプや家族でのアウトドアブームへの受け入れ態勢を整えることができた。

食堂では、昨年度に引き続き感染対策に努めた。繁忙期の食堂の混雑を緩和させるための3交代制の実施など、オペレーションを含め利用者が安心して食事を摂ることができる環境づくりを心掛けている。アレルギーの対応についてはフローチャートを作成するなど配慮を心掛けている。8月に本館1階厨房食料庫の除湿器が小火を出したことから、古くなった機器の更新など気を付けていきたい。

設備においては、昨年度より進めていた給水設備工事を終えたことで、安定した水質の市水道に切り替えができたことは喜ばしくある。一方、水道料金の値上がりや電気・ガスの値上がりもあるため、施設使用料金の改定は課題の一つである。また、アブやハチなどの害を下げる試みを試験的に導入することにより、今年度は夏季において虫刺されなどの事案が発生することは所内においてなかった。

修繕や改修については、自然の家のシンボルである「カリヨンの鐘」を修理することで時を知らせる鐘としての役割を復活させることができた。

また、スタッフが重機の操縦免許を取ることで、登山道の地ならし作業など、広範囲のメンテナンスが可能となった。引き続き、利用者の利便性や快適性を高めるよう優先順位を考えながら実施したい。

2-1. 事業実施状況

2022年	実施日	事業名	自主/主催	指定管理者 カウント	実績数 (人)	備考
4月	4/16(土)-17(日)	ガーデンイベント① (絵本でいただきます①)	主催	日	17	4/16日帰り
				宿	16	4/16-17宿泊
				日	9	4/17日帰り
	4/23(土)-24(日)	ガーデンイベント① (絵本でいただきます②)	主催	日	6	4/23日帰り
				宿	42	4/23-24宿泊
				日	6	4/24日帰り
4/29(金・祝)-30(土)	はじめてのキャンプにチャレンジ①	他自	宿	41	10組	
4/30(土)-5/1(日)	はじめてのキャンプにチャレンジ②	他自	宿	37	11組	
5月	5/3(火・祝)-4(水・祝)	はじめてのキャンプにチャレンジ③	他自	宿	37	12組
	5/4(水・祝)-5(木・祝)	はじめてのキャンプにチャレンジ④	他自	宿	47	13組
	5/14(土)	キッズデイキャンプ①	他自	日	35	
	5/15(日)	親子deしぜんのようちえん①	他自	日	28	
	5/21(土)-22(日)	女性のためのソロキャンプ(春)①	他自	宿	10	10組
	5/28(土)-29(日)	女性のためのソロキャンプ(春)②	他自	宿	10	10組
6月	6/3(金)	ガーデンイベント② (ホタルのタベ①)	自主	日	26	9組
	6/4(土)	ガーデンイベント② (ホタルのタベ②)	自主	日	30	10組
	6/5(日)	ガーデンイベント② (ホタルのタベ③)	自主	日	-	雨天中止
	6/11(土)-12(日)	フォレストジュニアクラブ① (テント・ホタル・野外炊事)	自主	宿	36	
7月	7/3(日)	親子deしぜんのようちえん②	他自	日	29	10組
	7/9(土)-10(日)	フォレストジュニアクラブ② (シャワー・クライミング・虫取り・野 外炊事)	自主	宿	35	
	7/23(土)	ガーデンイベント③ (BBQ・M・ツ①)	他自	日	12	2組
	7/24(日)	ガーデンイベント③ (BBQ・M・ツ②)	他自	日	13	4組
	7/30(土)	ガーデンイベント③ (BBQ・M・ツ③)	他自	日	8	2組
	7/31(日)	ガーデンイベント③ (BBQ・M・ツ④)	他自	日	18	3組

2022年	実施日	事業名	自主/主催	指定管理者 カウント	実績数 (人)	備考
8月	8/6(土)-9(火)	中高生チャレンジキャンプ	主催	宿	8	
	8/6(土)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑥)	他自	日	6	1組
	8/7(日)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑥)	他自	日	3	1組
	8/7(日)-8(月)	夏休みお泊りパック①	他自	宿	12	3組
	8/8(月)-9(火)	夏休みお泊りパック②	他自	宿	5	2組
	8/9(火)-10(水)	夏休みお泊りパック③		宿	-	(参加無)
	8/10(水)-11(木)	夏休みお泊りパック④	他自	宿	33	10組
	8/10(水)-14(日)	こどもワイルドキャンプ	主催	宿	20	
	8/11(木)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑦)	他自	日	-	(参加無)
	8/11(木)-12(金)	夏休みお泊りパック⑤	他自	宿	15	5組
	8/12(金)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑧)	他自	日	-	(参加無)
	8/12(金)-13(土)	夏休みお泊りパック⑥	他自	宿	13	3組
	8/13(土)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑨)	他自	日	8	2組
	8/13(土)-14(日)	夏休みお泊りパック⑦	他自	宿	26	8組
	8/14(日)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑩)	他自	日	-	(参加無)
	8/14(日)-15(月)	夏休みお泊りパック⑧	他自	宿	14	4組
	8/15(月)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑪)	他自	日	-	(参加無)
	8/15(月)-16(火)	夏休みお泊りパック⑨	他自	宿	21	6組
	8/16(火)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑫)	他自	日	-	(参加無)
	8/20(土)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑬)	他自	日	-	(参加無)
	8/21(日)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑭)	他自	日	8	2組
	8/27(土)	おとなのえんそく (シャワークライミング)	他自	日	8	おとなのための自然体験活動
	8/27(土)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑮)	他自	日	4	1組
	8/28(日)	ガーデンイベント③ (BBQア-パッケージ⑯)	他自	日	-	(参加無)

2022年	実施日	事業名	自主/主催	指定管理者 カウント	実績数 (人)	備考
9月	9/3(土)-4(日)	フォレストジュニアクラブ③ (秘密基地づくり)	自主	宿	33	
	9/10(土)-11(日)	防災キャンプ	主催	宿	13	5組
	9/17(土)-18(日)	シルバーウィークお泊りパック①	他自	日	20	6組
	9/18(日)-19(月・祝)	シルバーウィークお泊りパック②	他自	日	-	台風14号のため中止
	9/23(金・祝)-24(土)	シルバーウィークお泊りパック③	他自	日	10	3組
	9/24(土)-25(日)	シルバーウィークお泊りパック④	他自	日	13	5組
10月	10/8(土)-9(日)	秋のファミリーキャンプ	自主	宿	44	14組
	10/15(土)	コスプレの森①	他自	日	3	1組
	10/15(土)	キッズデイキャンプ②	他自	日	18	6組
	10/16(日)	コスプレの森②	他自	日	-	(参加無)
	10/16(日)	親子deしぜんのようちえん③	他自	日	17	6組
	10/22(土)	ガーデンイベント④ (焼き芋&10月イベント)	他自	日	-	参加無
11月	11/3(木・祝)	秋たっぶりDAY	他自	日	92	30組。第37回オープンデー 代替。申込制。
		えほんのひろば	主催	日	92	秋たっぶりDAY併催
	11/5(土)-6(日)	女性のためのソロキャンプ(秋)①	他自	宿	14	14組
	11/12(土)	コスプレの森③	他自	日	-	(参加無)
	11/12(土)-13(日)	女性のためのソロキャンプ(秋)②	他自	宿	12	12組
	11/13(日)	コスプレの森④	他自	日	-	(参加無)
	11/20(日)	第18回大阪府アドプトフォレスト	自主	日	-	コロナ禍により中止
	11/26(土)	コスプレの森⑤	他自	日	5	2組
	11/26(土)-27(日)	プログラミングキャンプ	他自	宿	19	
	11/27(日)	コスプレの森⑥	他自	日	4	1組
12月	12/3(土)-4(日)	フォレストジュニアクラブ④	自主	宿	36	ナイトハイク&星空観察
	12/10(土)-11(日)	ツリーイングクライマー資格認定講習 T-1	自主	宿	-	参加希望1名。中止。
	12/17(土)	ガーデンイベント⑤ (ダッチオープン①)	他自	日	34	9組
	12/18(日)	ガーデンイベント⑤ (ダッチオープン②)	他自	日	39	10組
	12/25(日)	焚火を楽しもう①	他自	日	25	8組
	12/24(土)-25(日)	冬のお泊りパック①	他自	宿	6	2組

2023年	実施日	事業名	自主/主催	指定管理者 カウント	実績数 (人)	備考
1月	1/7(土)-8(日)	冬のお泊りパック②	他自	宿	27	8組
	1/8(日)-9(月祝)	冬のお泊りパック③	他自	宿	16	5組
	1/8(日)	焚火を楽しもう②	他自	日	35	10組
	1/14(土)-15(日)	フォレストジュニアクラブ⑥ (ツリーイング&宝探し)	自主	宿	36	
	1/15(日)	焚火を楽しもう③	他自	日	20	7組
	1/21(土)-22(日)	指導者養成講座 (ネイチャーゲームリーダー養成講座)	自主	宿	10	
	1/21(土)-22(日)	冬のお泊りパック④	他自	宿	6	2組
	1/22(日)	焚火を楽しもう④	他自	日	58	14組
	1/28(土)-29(日)	冬のお泊りパック⑤	他自	宿	15	4組
	1/29(日)	親子deしぜんのようちえん④	他自	日	19	7組
	1/29(日)	焚火を楽しもう⑤	他自	日	54	16組
2月	2/5(日)	焚火を楽しもう⑥	他自	日	37	14組
	2/12(日)	焚火を楽しもう⑦	他自	日	26	9組
	2/19(日)	焚火を楽しもう⑧	他自	日	-	雨天中止
	2/23(木祝)	サバイバルマスター-1DAYチャレンジ ①(ナイフ編)	他自	日	69	
	2/26(日)	焚火を楽しもう⑨	他自	日	85	23組
	2/25(土)-26(日)	キッズ2daysキャンプ (キッズ1③1泊)	他自	宿	31	13組。キッズデイ3回目の みお泊り
3月	3/5(日)	第33回乗馬体験と臨床動作法	自主	日	31	9組。10/2から変更。 3年度振りの再開
	3/11(土)-12(日)	フォレストジュニアクラブ⑥ (ロードバイク & キャンプファイア)	自主	宿	35	
	3/21(火祝)	サバイバルマスター-1DAYチャレンジ ②(ファイヤー編)	他自	日	70	

	実施日	事業名	自主/主催	指定管理者 カウント	実績数 (人)	備考
不定期	5/21(土)	おおさか元気広場 出前講座 (和泉市立はつが野小)	自主	日	25	ｽﾌﾟｰﾝづくり、ｽﾗｲﾄﾞｷｯﾌﾟ
	10/29(土)	外部依頼講座「ﾌｧﾐﾘｰｷｯﾌﾟ 入門」 (岸和田市立山滝地区公民館)	自主	日	12	4組。ﾄｰﾙﾌﾞｯﾄﾞ張、ｷｯﾌﾟ 用品 説明
	11/22(火)	おおさか元気広場 出前講座 (門真市立大和田小)	自主	日	17	ｽﾌﾟｰﾝづくり
	12/12(月)	おおさか元気広場 出前講座 (門真市立沖小)	自主	日	17	0-ﾌﾟ あそび
	12/19(月)	おおさか元気広場 出前講座 (門真市立五月田小)	自主	日	15	ｽﾌﾟｰﾝづくり
	2/11(土)	おおさか元気広場 出前講座 (寝屋川市立西小)	自主	日	34	ｽﾌﾟｰﾝづくり
	2/18(土)	外部依頼講座「焚き火を楽しもう」 (河南町立総合体育館)	自主	日	14	4組
	3/17(金)	外部依頼講座「男性ソロｷｯﾌﾟ入門」 (貝塚市中央公民館)	自主	日	5	ﾄｰﾙﾌﾞｯﾄﾞ張、ｷｯﾌﾟ 用品説明
		シルバー生涯学習DAY	他自	日	-	おとなのための自然体験活 動。ﾆｰｽﾞ に応じて対応。 (今年度該当なし)
		インターンシップ(就労体験) 推進事業	自主	日	7	大阪教育大学
	2/18(土)-19(日)	自然の家専属指導者の育成事業 (そぶらリーダー研修)	自主	日・宿	22	当施設専属のボランティア リーダー

合計	30事業 86回(中止回を除く)		事業数	回数	実績数 (人)	備考
内訳	主催事業		5	6	229	実績数のうち「えほんのひろ ば」の92名は、同時併催の その他自主事業「秋たっぴり DAY」とダブルカウントさ れています
	自主事業		8	21	520	中止になった「ﾄﾞｰﾌﾞｯﾄﾞ ﾄ」 「ｸﾘｰﾝｲﾝｸﾞ 講習」は含ま れていません
	その他自主事業		14	59	1400	中止になった「ｶﾞｰﾃﾞﾝﾊﾞｲ ｯﾄ④」 「ｼﾙﾊﾞｰ-障害学習DAY」 は含まれていません
	計		27	86	2149	

2-2. 事業に関する総括・自己評価

令和4年度に自然の家で実施した事業は中止になったものを除き27事業、計86回。参加者総数は2149人で昨年度(2228人)より79人の減となった。

<主催事業> 5事業6回(中止なし) 229人

災害に備える支援事業「防災キャンプ」は自助・共助をテーマに、水ろ過機の使用体験、焚き火で防災食を調理し新聞紙の食器で食事、段ボールでパーテーションを作成し避難所体験をするなど、実践的な体験を行った。新たな試みとして「避難所運営ゲーム」を行い、防災意識を高めていただけた。

長期宿泊体験事業は年代に応じて2事業を行った。

小学高学年対象の「こどもワイルドキャンプ」(4泊5日)は、コロナ禍以降、初の長期キャンプで実施した。受付時に個別に生活ツールを配布するなど、自立した生活を目指した。箸・スプーンの作成、伐採した竹を使った秘密基地づくり、川遊びと生物観察、など、日常生活と自然への感謝の心を養えた。また、近隣農家の協力を得て収穫体験を行うなど食に対する学びを深めることができた。

「中高生チャレンジキャンプ」(3泊4日)はコロナ禍を鑑み、シェルター作り、野外炊飯を個人で行い、新たな試みとして「立ちかまど」を製作した。フォレストジュニアクラブの卒業生など参加者も定着し、将来、ボランティアリーダーになることに関心も示す参加者も見られた。

読書活動と結びついた自然体験の推進事業は2事業。

今年は宿泊も選択可で実施。「絵本でいただきます」は例年「料理が登場する絵本」の読み聞かせの後、実際に家族で作って自然の中で食べる内容で、今年は自然の家で材料採集し「笹の葉おにぎり」と「よもぎだんご」を作り、絵本の世界を体験した。絵本を貝塚市民図書館から100冊、堺市から60冊程度借りたほか、貝塚市自然遊学館から外部講師を招くなど、地域施設の活用も行った。

「えほんのひろば」はその他自主事業「秋たっぷり DAY」と併催。ホールで子供達が寝転がって読めるように工夫するなど、幼児を含む家族にも好評だった。

<自主事業> 8事業21回(中止を除く) 520人

障がいを抱える青少年への支援事業「乗馬体験と臨床動作法」は、コロナ禍により10月から3月に延期し実施。外部講師と学生ボランティア、近隣の乗馬クラブの協力による事業で、前回、平成30年度(2019年3月17日)から4年ぶりの再開のため、定員を約半数の10組に絞り、従来の運営体制・進行を復元できるよう注力した。参加者から感謝の声が高く、次年度以降、定員を徐々に戻したい。

「フォレストジュニアクラブ」は年6回実施。(各1泊)

野外炊事のほか、ホテル観察、シャワークライミング、秘密基地づくり、ナイトハイク、星空観察、ツリーイングなど、季節に応じた自然体験活動を展開した。毎回、定員の倍程度の応募があり、特に人気のプログラム(シャワークライミング、ツリーイング)については、次年度は事業を独立させる予定である。

「ホテル観賞の夕べ」

日帰り3回で企画(うち1回は雨天中止)。明るい間に自然観察会を行い、ホテルの生態について講義の後、近隣の川で観察を行った。昨年より出現数が多く、参加者に好評だ

った。

「ファミリーキャンプ」はテント設営やダッチオープン料理やハンバーガーをパンから作るなど、家族それぞれが協力して行うプログラムを行うことで家族の絆を深める目的を達成できた。

自治体・企業と連携した森林教育事業「大阪府アドプトフォレスト」はコロナ禍により今年度も中止となった。

自然環境・野外活動指導者育成事業の2事業は、恒例の「ツリーイングクライマー資格認定講習」は参加者が集まらず中止となったが、「ネイチャーゲームリーダー養成講座」は10名が参加し資格を取得した。

おおさか元気広場「出前講座」はウィズコロナの移行に伴い、依頼件数が徐々に復調し、小学校5校でスプーン作りやロープ遊びを行った。

公民館等からの出張講座の依頼も3件あった。ファミリーキャンプやソロキャンプ、たき火体験など、アウトドアブームを背景に依頼が増えている。

その他、自然の家専属指導者（そぶらリーダー）の研修、大阪教育大学からのインターンシップ（就労体験）の受入などを行った。

<その他自主事業> 14事業 59回（中止を除く） 1400人

バーベキューガーデンイベントは、前述の主催事業（絵本でいただきます）、自主事業（ホテルのタベ）を除き3事業を企画したが、「ダッチオープン料理」は全2回とも定員に達したものの、昨年好評で回数を増やした「プールパック」は新型コロナ第7波の影響もあり、16回中、6回は利用者がおらず中止。「焼き芋&ハロウィングラフト」はキャンセルが相次ぎ中止となった。次年度は回数、内容を見直す。

昨年度から始めた「プログラミングキャンプ」はゲームプログラミングを中心に行った。自ら組み上げたプログラムによってキャラクターを動かしたり、ドローンを飛ばすなど、プログラミング思考（目標に対して試行錯誤をしながら、達成に向けて努力する力）を体験によって学ぶ機会を提供できた。

「宿泊パック」は当初計画していたゴールデンウィークに加え、繁忙期の夏休み、秋冬の連休にも追加した。キャンプ初心者でも気軽にのんびり参加できるパッケージングで人気だが、夏休みの全9回の1回は参加者がなく中止になるなど日によって増減があった。

おとなのための自然体験活動は2事業。うち、ニーズに応じて対応する「シルバー生涯学習 DAY」は該当なし。「おとなのえんそく」はシャワークライミングを実施。童心に帰って川遊びを楽しむ目的通り、大いに盛り上がった。

「たき火を楽しもう」は冬の閑散期の週末に9回実施。家族でたき火を囲むシンプルな内容ながら、自由に団らんの時間を過ごせる点が人気で、回数を重ねるごとに参加人数が増加した。

子育て応援事業としては年代別に2事業を行い、季節に応じて親子で楽しめる内容をそれぞれ複数回実施した。

「親子deしぜんのようちえん」は未就学児を対象に年4回実施。外部講師を招き、森の

お散歩や遊びなどを通して自然と触れ合い、幼児期の感受性を育む目的を果たしている。「キッズデイキャンプ」は小学校低学年対象の親子で年3回実施（最終回のみ1泊）。季節に応じた野外活動を楽しむ内容で、たき火、秘密基地づくり、草木染め、野外炊事などを行った。最終回は親子で別のプログラムを並行して行うなど、保護者も楽しめる工夫をした。

「コスプレの森」は例年通り秋の週末に全6回予定し、宿泊プランも設定したが、うち3回は利用者が無く、他の回も利用が少なかった。一方、通常の利用でコスプレ撮影をされるグループも一般化してきており、事業としての役目を見直す時期にきている。

「女性のためのソロキャンプ体験会」はキャンプブームの後押しもあり人気の事業で、秋に加え春にも2回増回し計4回実施した。毎回、メスティンやスキレットなどの調理器具を使った“映える”野外料理を取り入れるなど工夫をしている。

今年度の新規事業として「サバイバルマスター1DAYチャレンジ」を2回企画した。昨年度に指導者養成講座で職員も受講した「72時間サバイバル」のスキルも活用し、災害時に役立つサバイバルスキルを日帰りで学ぶ内容で、今回は「ナイフ」と「たき火」をテーマに実施し、小学生から大人まで幅広い年齢層に参加して頂けた。

地域連携を目的に毎年、施設開放で行ってきた「オープンデー」は第37回に相当するが、昨年度と同様にコロナ禍を鑑み「秋たっぶりDAY」として事前予約制で開催した（30組限定・参加92名）。内容としては貝塚市消防局の消防車展示と放水実演、地元野菜の販売コーナー、木の工作やゲームなど、施設全体を使用した。4組交代でコーナーを巡る形式で混乱なく運営できた。

<その他>

事業ではないが、地域連携の一環として貝塚市の「地元貝塚に泊まろうキャンペーン」に参画し「貝塚市民（在勤者）お泊りパック」を設定した。2月1日から3月20日までの期間中に4組の利用があった。

3-1. 収入実績

施設総収入額

(1) 宿泊等部門

72,955,932 円

項目	計画	実績
利用料金収入	35,856,000円	35,837,635円
事業収入他	29,881,000円	37,118,297円
総収入	65,737,000円	72,955,932円

(2) 食堂等部門

87,358,840 円

項目	計画	実績
食堂料金収入	71,859,000円	85,070,944円
事業収入他	1,221,000円	2,287,896円
総収入	73,080,000円	87,358,840円

(3) 府管理運営委託料

59,997,000 円

3-2. 収入に関する総括・自己評価

新型コロナウイルス感染症による利用率の低下から緩やかな回復がみられた。利用の回復に伴い食堂の利用者も増えたことで食堂料金収入が大幅にアップした。事業参加費の見直しや内容を検討した結果、事業収入も同様にアップした。食堂部門の事業収入を増やすため、食事付きのオプションを設定した事業を設けるなど、売上増を目指したが、計画の値には届かなかった。しかし総収入としては宿泊・食堂共に目標を達成した。

4-1. 損益計算表

(1) 総括損益計算書

項 目	金 額
宿泊部門総収入 ①	72,955,932円
食堂部門総収入 ②	87,358,840円
管理運営委託費 ③	59,997,000円
施設総収入 ④	220,311,772円
宿泊部門総支出 ⑤	137,766,143円
食堂部門総支出 ⑥	85,257,570円
施設総支出 ⑦ (⑤+⑥)	223,023,713円
損益 ⑧ (⑦-④)	-2,711,941円

(2) 部門別損益計算書

項 目	合計	総収入 対比率	宿泊等部門	食堂等部門
利用料金収入 A	35,837,635円	16.3%	35,837,635円	
食堂収入 B	85,070,944円	38.6%		85,070,944円
事業収入他 C	26,322,768円	11.9%	26,322,768円	
自主事業収入 D	8,768,432円	4.0%	8,768,432円	
自主事業収入 (バーベキュー場運営) E	1,331,320円	0.6%	482,240円	849,080円
管理運営委託費 F	59,997,000円	27.2%	59,997,000円	
※ 助成金等 G	2,983,673円	1.4%	1,544,857円	1,438,816円
総収入 H (A~G合計)	220,311,772円	100.0%	132,952,932円	87,358,840円

※ = 管理運営業務契約書第34条に基づく協議による大阪府負担金

事業費用 J	合計	100.0%	137,766,143円	85,257,570円
人件費	93,813,792円	42.1%	65,097,939円	28,715,853円
光熱水費	32,110,406円	14.4%	22,422,892円	9,687,514円
消耗品費	3,267,413円	1.5%	1,324,503円	1,942,910円
宣伝費	603,723円	0.3%	603,723円	0円
原材料費	48,864,780円	21.9%	9,953,755円	38,911,025円
修繕費	4,337,585円	1.9%	4,138,925円	198,660円
手数料	88,897円	0.0%	84,793円	4,104円
委託料	10,171,416円	4.6%	9,757,816円	413,600円
公租公課費	8,037,185円	3.6%	5,088,858円	2,948,327円
賃借料	3,357,822円	1.5%	3,357,822円	0円
施設整備費	2,729,011円	1.2%	2,729,011円	0円
その他	6,624,137円	3.0%	4,534,561円	2,089,576円
自主事業に係る経費	9,017,546円	4.0%	8,671,545円	346,001円
損益 (H-J)	-2,711,941円		-4,813,211円	2,101,270円

うち投資額 バーベキュー場リース	1,860,012
------------------	-----------

4-2. 損益に関する総括・自己評価

--

5-1. その他の実績（従業員研修、個人情報保護及び情報公開体制等）

職員研修

事業所内での研修に加え、整備や衛生管理に必要な技術の習得、外部の研修会や青少年教育施設が主催する研修、情報交換会、実践発表などにも積極的に職員を派遣し、知識の習得とスキルアップを図った。

今年度もコロナウイルス感染症対策により、リモートによる研修を活用した。

6月4日	大阪府キャンプ協会総会	1名
10月6日、7日	パワーショベル運転講習	2名
10月21～22日	72時間サバイバル協会指導者研修	2名
10月30日	大阪府キャンプ協会30周年式典出席	2名
11月7日	大阪府立少年自然の家 人権研修	16名
11月10日	大阪府「おおさか元気広場」関係者研修・企業団体プログラム博覧会	2名
11月24日	食品衛生責任者養成講座 オンライン受講	1名
12月6日	刈払機取扱者特別教育受講	1名
12月9～11日	日本キャンプ協会キャンプディレクター1級養成講習	1名
12月15日	近畿地区青少年施設協議会 所長研修会	1名
12月15～16日	近畿地区青少年施設協議会 専門研修会	1名
1月21～22日	ネイチャーゲームリーダー養成講座	3名
2月4日	近畿地区青少年教育施設協議会 PR活動参加	1名
2月15日	大阪ユースホステル協会全体研修	13名
2月18日～19日	自然の家専属ボランティアリーダー（そぶりだ）研修	11名
3月1日	大阪府青年の家等連絡協議会	3名
3月6日	消防訓練	16名

個人情報の保護等

個人情報取り扱い規程に基づき、入手した個人情報は適切に管理した。

情報公開について

管理運営業務に関する書類を備え置いている。情報公開の請求はなかった。

5-2. その他の実績に対する総括・自己評価

職員のスキルアップや知識向上のため、個々のレベルに合わせて計画的に外部研修会への派遣や自主研修などを行った。

学習指導要領にあわせた「防災教育プログラム」実施のための「72時間サバイバルコーチ・ディレクター講習」の理解を深めるフォローアップ研修や、「ネイチャーゲームリーダー」「キャンプディレクター1級」を受講し、指導系の技術向上を図った。

また、登山道整備などの大掛かりな施設整備を行うための重機操縦の運転講習会や刈払機の安全教育を受講し、保全活動を強化できるような環境を整えた。

毎月実施している全体会議の場など、危険回避・安全対策・衛生管理・人権問題に関わる知識について職員の相互理解を深める場を設けている。

「食品衛生責任者養成講座」は新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで受講した。

また、昨年度はオンライン講習となった、そぶりだ（自然の家の専属ボランティアリーダー）の研修を2月に所内にて実施。野外スキルや人間関係を高めるトレーニングなどを中心に行った。

個人情報については、事業の申し込み時に、以後の案内送付や写真提供の可否を必ず確認するなど、個人情報保護に努めた。

6-1. 利用者アンケートについて（満足度・改善要望等）

令和4年度 4月～3月分の利用者アンケート集計について

1. 当施設をどのような方法で知りましたか？ ※回答数525件

過去に（以前に）利用して知っていた 70%

ホームページから知った 17%

口コミ 9%

その他 4% (DM、SNS)

2. 施設についての満足度(宿泊棟・体育館・研修室・野外活動施設等) ※回答数551件

満足 77%

普通 22%

不満 1%

<改善要望>

- 洋式トイレの数を増やしてほしい。和式を使ったことの無い児童も多い。
→ 2023年3月から府にて洋式トイレに順次更新中。
- テントサイト等、屋外施設の水はげが悪い。
→ 自炊場を含め、砂利を敷設、重機を使い整地した。

3. 食事についての満足度(食堂からの提供食・野外炊飯材料等) ※回答数448件

満足 76%

普通 23%

不満 1%

<改善要望>

- 「全て食堂発注か、全て食材持込のどちらか」というのは不便。
→ 食中毒が発生した際、原因がわからなくなるため、混同は容認できない。

4. 職員の対応についての満足度（事前打合わせ・電話対応・利用当日の対応等）

※回答数 553件

満足 86%

普通 13%

不満 1%

5. 達成度 ※回答数 520件

90～100%達成 77%

70～89%達成 21%

69%以下 2%

実施したプログラム上位と意見

①野外炊飯185件 ②キャンプファイヤー147件 ③展望台ハイキング105件

- キャンプファイヤー・・・マキ組みは手伝ってもらえると助かる。
→ 有償でスタッフが請け負うサービスを案内している。
- ハイキング道の分岐点がわかりづらい。
→ 各分岐点に番号札を設置。マップ上の現在地をわかりやすくした。

6-2. 利用者アンケートに対する総括・自己評価

今年度は92%の回収率であった。

施設の申し込みは、利用歴のある団体が7割と圧倒的に多く、次いでホームページやSNSからの情報収集が多い。過去に事業で子供が参加され、ご家族で利用されるケースも散見される。

施設については、安全性、快適性を優先し、改修、修繕を進めており、特に今年度はショベルカーをレンタルし、炊事場等の路面整備を重点的に行った。トイレの洋式化に対する要望は多く、年度末から府による段階的な更新が始まった。

食事についてマイナス意見はあまり見られず、好評価を維持している。

コロナ禍が落ち着き、利用者が増えてきており、ハイキングや野外炊事などの野外プログラムや、食堂の運営など、特に多人数が一度に利用する部分に対し、サービスの向上、改善を進めている。

7-1. 事故・苦情処理

令和4年度中に事故疾病報告のあった事例は計102件。前年と比べ利用者増加に伴い増えている。(前年度は29件)

内訳は体調不良が82件、ケガが14件、所外においてのハチ刺され6件。体調不良のうち退所後に新型コロナウイルスのPCR検査で陽性が判明したのは23件だった。ケガ・火傷の発生場所は、ハイキング、炊飯場など屋外活動中、体育館での屋内活動中などであった。やけどに関しては注意喚起を行った結果0件であった。

発生の時期は、4月15件、5月12件、6月16件、7月28件、8月3件、9月4件、10月14件、11月5件、12月3件、3月2件だった。

事故・疾病の発生時は、団体責任者と連携して応急的措置をとっており、新型コロナウイルス感染症対策として、37.5℃を超える場合は通常の医務室とは別室で隔離対応し、団体代表者と連携して保健所や相談窓口へ連絡し支持を仰いだ。検査結果に関わらず、退所後に該当者が使用した部屋はオゾンによる殺菌を行っている。

事前打合せ時では、毒性植物の注意、毒虫や毒蛇・スズメバチ・マダニなどに対する注意の他、滞在中は熱中症や雷注意報など気象情報の提供を行い事故予防に努めた。今年、ハチ・アブキャッチャーを設置し、対策を行ったことで所内での虫刺されによる病院受診の事案はなかった。

利用者の安全確保と危険回避については、点検により登山道補修、枯木倒木処理、野外炊飯場など補修整備に努めている。今年、展望台方面の登山道を中心に重機を使つての整地作業を行い、道幅の確保や悪路の改善作業を行った。

また、8月に厨房地下に設置した除湿器が発火し小火となったが、お客様への直接の被害はなかった。

7-2. 事故・苦情処理に対する総括・自己評価

事故対策については、定期的な施設内の巡回、整備を都度行っている。

37.5℃を超える高熱が増加しており、職員は新型コロナウイルス感染を前提とした一連の対処についてルーティン化ができている。

苦情については、適切で迅速な対応を心がけ、再発防止を行っている。

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、事業の中止や利用定員の制限などが散発しているが、利用者のご理解も浸透してきており、大きなトラブルや苦情は無かった。

8月に発生した厨房に設置した除湿器による小火発生など、機器の老朽化やリコール対象の商品などによるトラブルを回避するため、見直しを行い、設備などを更新していきたい。

8-1. 利用実績 (管理宿泊部門)

(1) 概要

			備考
開所日数		358日	
休所日数		7日	
利用日数	宿泊	255日	
	日帰り	297日	
利用件数	宿泊	708件	
	日帰り	1113件	
利用人数	宿泊	38,845人	
	日帰り	38,158人	
一日平均利用件数	宿泊	2.0件	
	日帰り	3.1件	
一日平均利用人数	宿泊	109人	
	日帰り	107人	
利用料金 収入状況 (単位:円)	宿泊棟	27,401,525円	
	テント	548,690円	
	日帰り	7,887,420円	
	合計	35,837,635円	

(2) 利用内訳

区分		団体数	人数	備考
宿泊	宿泊棟	未就学	800人	
		小学生	11,531人	
		中学生	13,037人	
		高校生	2,238人	
		他学生	1,762人	
		指導者	2,910人	
		他大人	5,617人	
		計	37,895人	
	テント	未就学	13人	
		小学生	243人	
		中学生	96人	
		高校生	170人	
		他学生	32人	
		指導者	51人	
		他大人	345人	
計		950人		
日帰り	未就学	1,313人		
	小学生	10,511人		
	中学生	13,282人		
	高校生	1,618人		
	他学生	1,419人		
	指導者	3,270人		
	他大人	6,745人		
	計	38,158人		

(3) 宿泊利用実績に対する総括・自己評価

令和4上半期は昨年度は4月26日～6月20日までの休館の影響もあったが、今期は受け入れを行うことができた。ただし、コロナの影響は残り、7割程度の利用数となっている。学校団体などキャンセルや、日程変更が多く見られた。夏季においてもコロナ前の利用数と比較すると8割程度の利用率。特に8月に長期宿泊の団体が軒並みキャンセル、もしくは人数減になったことなどが大きく影響した。秋季においては昨年ほどの利用はなかったもののコロナ前とほぼ同数の利用数となっている。冬季においては宗教系、学校の連泊もあり利用率が伸びた。年間を振り返りとコロナ禍の第6波の余波(春)、第7波(夏-秋)の影響を受けつつも、感染対策を行いつつ受け入れを行えた結果、前年度(40,163人)を大きく上回り、2016-18年平均比(96,391人)、2018年(94,290人)に対し8割程度まで回復した。

8-2. 利用実績 (食堂部門)

(1) 概要

			備考
売上収入状況	食堂	58,489,533円	
	野外炊飯	18,302,810円	
	その他	8,278,601円	
	BBQ関連	849,080円	
	合計	85,920,024円	

(2) 区分別食事売上状況

		食数	売上額
食堂	朝食	32,816	17,348,540円
	特別食	505	161,430円
	昼食	15,339	10,474,390円
	特別食	2,400	1,606,552円
	夕食	29,616	26,110,300円
	特別食	3,404	1,246,881円
	雑収入	0	163,540円
野外炊飯		27,082	18,302,810円
BBQ食材収入		142	511,420円
販売	弁当	2,532	1,574,550円
	補食・夜食	43,765	6,704,051円
BBQ付帯収入		1,331	337,660円
水筒補充用お茶		49,041	1,377,900円
合計		158,932	85,920,024円

※合計食数には、お茶を含まず。(金額にはお茶・雑収入も含んでいます)

(3) 食堂利用実績に対する総括・自己評価

年間を通じてコロナ対策を引き続き行いながらの運営となった。食堂利用時におけるアレルギー対応においてミスがあり、再発を防止するためのフロー作成など対策を講じた。6月の規制緩和に伴い、食堂座席数を4人から6人に引き上げると共にパーティションの増設を行い感染対策を講じた。繁忙期には食堂の混雑を緩和させるため、食事時間の3交代制を引き続き導入し、安心安全な食事提供を心掛けた。また7月からの電気料金値上げや、水道・ガス代の値上がりもあったが、食事料金の値上げを行うことができたため、順調に数字を伸ばすことができたといえる。また自主事業などにおいて食事付きのプランを提案することにより食数を積み重ねることができた。

9. サービスの安定性評価

(1) 収支

項 目	事業計画	実績	対計画比
宿泊部門総収入 ①	65,737,000円	72,955,932円	111.0%
食堂部門総収入 ②	73,080,000円	87,358,840円	119.5%
管理運営委託費 ③	59,997,000円	59,997,000円	100.0%
施設総収入 ④	198,814,000円	220,311,772円	110.8%
宿泊部門総支出 ⑤	131,515,000円	137,766,143円	104.8%
食堂部門総支出 ⑥	74,024,000円	85,257,570円	115.2%
施設総支出 ⑦ (⑤+⑥)	205,539,000円	223,023,713円	108.5%
損益 ⑧ (⑦-④)	-6,725,000円	-2,711,941円	

(2) 部門別収支

(単位：円)

項 目	事業計画		実績			
	宿泊等部門	食堂等部門	宿泊等部門	対計画比	食堂等部門	対計画比
利用料金収入 A	35,856,000		35,837,635	99.9%		
食堂収入 B		71,859,000			85,070,944	118.4%
管理運営事業の活動系事業収入 C	21,304,000		26,322,768	124%		
自主事業部門の活動系事業収入 D	7,926,000		8,768,432	110.6%		
自主事業部門のバーベキュー収入 E	651,000	1,221,000	482,240	74.1%	849,080	70%
管理運営委託費 F	59,997,000		59,997,000	100.0%		
※ 助成金等 G			1,544,857		1,438,816	
総収入 H (A~G合計)	125,734,000	73,080,000	132,952,932	105.7%	87,358,840	119.5%

※ = 管理運営業務契約書第34条に基づく協議による大阪府負担金

事業費用 J	131,515,000	74,024,000	137,766,143	104.8%	85,257,570	115.2%
人件費	65,075,000	22,423,000	61,290,054	94.2%	24,907,968	111.1%
本部人件費	2,880,000	2,880,000	3,807,885	132.2%	3,807,885	132.2%
光熱水費	16,797,000	8,254,000	22,422,892	133.5%	9,687,514	117.4%
消耗品費	1,540,000	1,430,000	1,324,503	86.0%	1,942,910	135.9%
宣伝費	660,000	0	603,723	91.5%	0	
原材料費	10,166,000	35,292,000	9,953,755	97.9%	38,911,025	110.3%
修繕費	3,850,000	0	4,138,925	107.5%	198,660	
手数料	132,000	0	84,793	64.2%	4,104	
委託料	9,378,000	132,000	9,757,816	104.1%	413,600	313.3%
公租公課費	6,020,000	2,384,000	5,088,858	84.5%	2,948,327	123.7%
賃借料	3,036,000	0	3,357,822	110.6%	0	
施設整備費	0	0	2,729,011		0	
その他	4,483,000	22,000	2,444,985	54.5%	0	0.0%
本部事務費	761,000	761,000	2,089,576	274.6%	2,089,576	274.6%
自主事業に係る経費	6,737,000	446,000	8,671,545	128.7%	346,001	77.6%
損益 (H-J)	-5,781,000	-944,000	-4,813,211		2,101,270	

うち投資額	BBQ場等投資額	1,860,012		1,860,012		
-------	----------	-----------	--	-----------	--	--

(3) 経営状況分析指標

	事業計画	実績	対計画比	備考
事業収支 (収入(A)-支出(B))	-6,725,000円	-2,711,941円	40.3%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	18.0%	16.3%	90.2%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	42.6%	38.6%	90.8%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	4.6%	4.4%	94.6%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/延べ利用者数)	2,936円	2,896円	98.6%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/延べ利用者)	857円	797円	93.0%	

* 事業改善に向けた分析 *

管理コストについては、年間を通じて合理的・効率的となるよう努めた。利用者については緩やかな回復が見られたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業収入はマイナスとなったが、昨年同様に、雇用調整助成金や時短協力金を申請し、出来る限りのコスト減を図った結果、収支はおおむね正常な範囲となった。

10. 利益処分計算書

1. 当期末処分利益 A	= (3) - (6)	-3,794,147
収益総額 (1)		220,311,772
自主事業に係る収入 (2)		10,099,752
納付額の根拠となる収入額 (3) = (1) - (2)		210,212,020
支出総額 (4)		223,023,713
自主事業に係る支出 (5)		9,017,546
納付額の根拠となる支出額 (6) = (4) - (5)		214,006,167
2. 大阪府への納付金 B	= A / 2 (マイナスの場合は0円)	0
3. 指定管理者への分配額付金 C	= (1) - (4) - B (マイナスの場合は負担額)	-2,711,941
公益財団法人大阪ユースホステル協会	C × 0.7	-1,898,359
一般財団法人大阪府青少年活動協会	C × 0.3	-813,582
4. 時期繰り越し収支差額		0